

# 観光レポート Vol.22【2023年2月号】

発行：公益社団法人とやま観光推進機構

発行日：2023年3月31日（金）



小矢部市：桜とクロスランドおやべ①

# 2月の概況

- 個人宿泊者数は、対前年同月比約99.9%と減少した。  
(増減率△0.1%)
- SNS (Twitter) 利用者による本県の観光に関する投稿も対前年同月比**減**となった。

«本レポートの問合せ先»

公益社団法人とやま観光推進機構

住所：富山県富山市新総曲輪1-7

TEL：076-444-4571 FAX：076-431-4193

# 目次

## 1. 観光データの動向・・・P4

①宿泊者実績（県全体）

②宿泊者実績（地域別）

③性別×年齢層

④参加形態

⑤購入単価

⑥来訪者居住地域TOP10

## 2. 富山県観光に関する「SNS」の動向・・・P9

①Twitter分析

## 3. とやま観光推進機構からのお知らせ・・・P10

「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン」が策定されました

# ● レポートについて

本レポートは観光事業者、観光団体の皆様へ地域の観光データを提供し、誘客やプロモーション等の参考にさせていただくことを目的に発刊しております。データ分析を基にした戦略的な観光地経営を実現するためにも、本レポートが少しでも参考となりますよう今後も充実を図ってまいります。

# ● 掲載データについて

## 1. 観光データの動向

宿泊に関するビッグデータ「観光予報プラットフォーム」を用いて分析

## 2. 富山県観光に関する「SNS」の動向

Twitterにおいて富山県の観光に関する投稿をユーザーローカル社が提供するSocial Insightを用いて分析

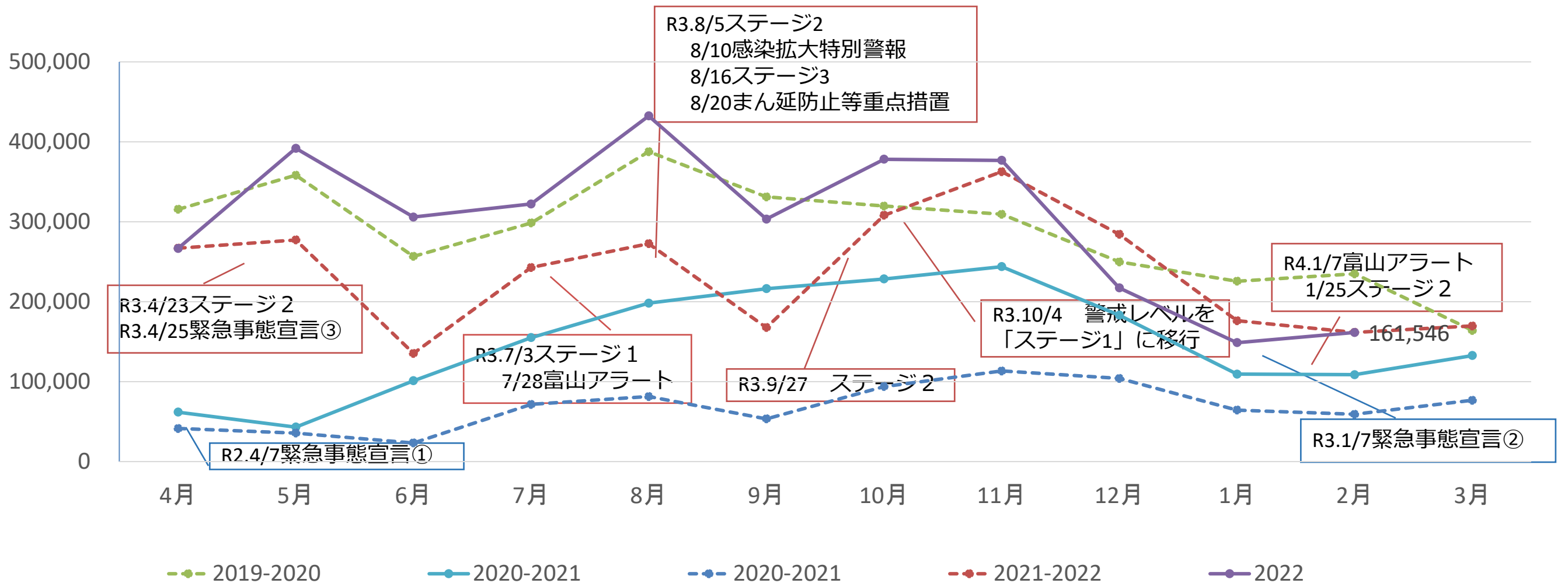
※宿泊データは、観光庁・各市町村データと差異があることもあります。



# 1. 観光データの動向

## ～ビッグデータ「観光予報プラットフォーム」分析～

### ①県全体の宿泊者数の推移



|            | 宿泊者数         | 国内旅行者    | 外国旅行者 |
|------------|--------------|----------|-------|
| 2月1日～2月28日 | 161,546人     | 159,749人 | 1,805 |
| 対前年同月差(比)  | △93人 (99.9%) | —        | —     |

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）が提供するビッグデータ。日本全体の宿泊データのうち、サンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者実績データを算出。直近2か月については速報値を掲載しているため、今後、新型コロナウイルス等の影響により変動する可能性がある。

# 1. 観光データの動向(2023年2月)

## ②地域別動向（宿泊実績）

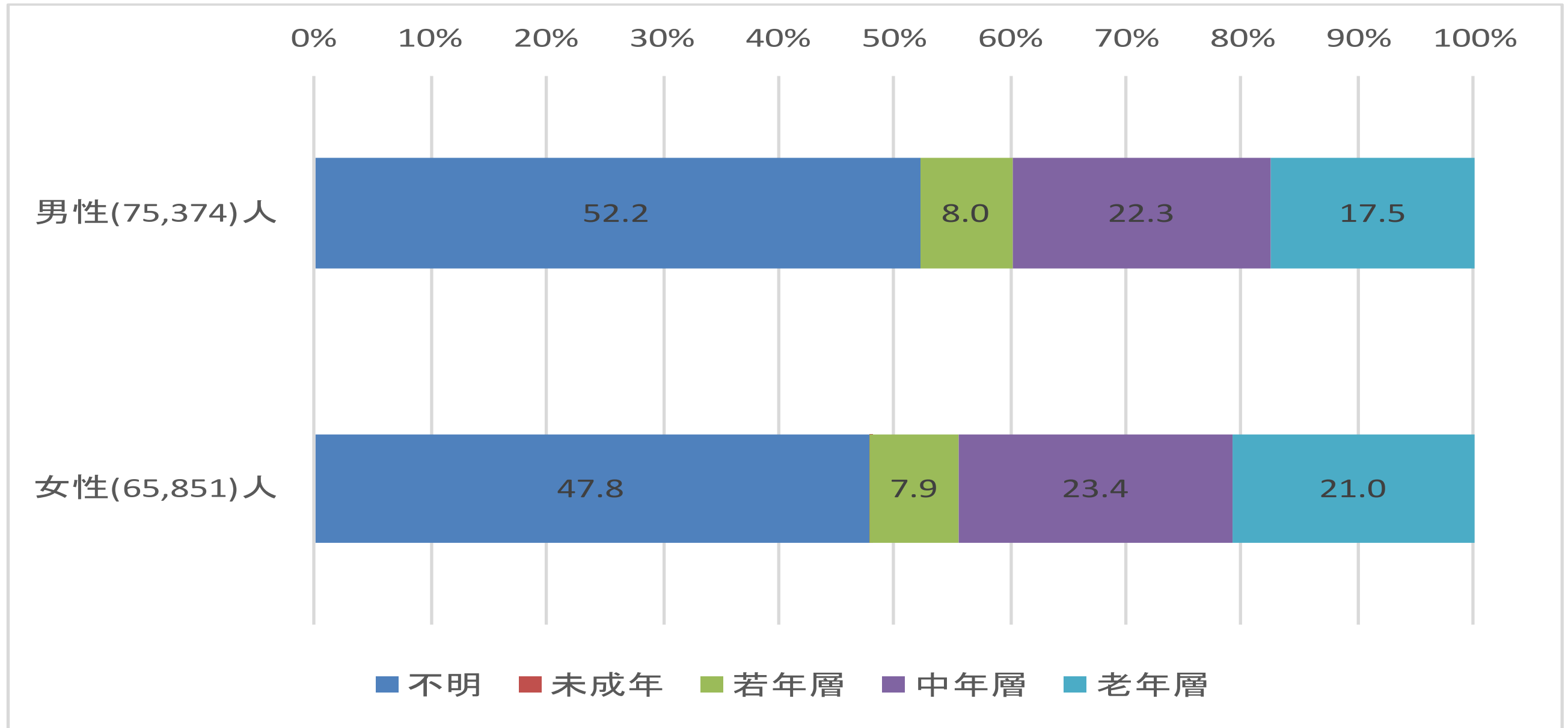
| 自治体         | 2022年2月 |        |         | 2023年2月 |        |         | 対前年同月比 |         |        |
|-------------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|             | 国内旅行者   | 外国人旅行者 | 計       | 国内旅行者   | 外国人旅行者 | 計       | 国内旅行者  | 外国人旅行者  | 計      |
| 富山・滑川・上市・立山 | 60,989  | 0      | 60,989  | 72,727  | 0      | 72,727  | 119.2% | #DIV/0! | 119.2% |
| 魚津・黒部・入善・朝日 | 60,847  | 0      | 60,847  | 49,761  | 274    | 50,035  | 81.8%  | #DIV/0! | 82.2%  |
|             | 121,836 | 0      | 121,836 | 122,488 | 274    | 122,762 | 100.5% | #DIV/0! | 100.8% |
| 高岡・氷見・射水    | 26,685  | 0      | 26,685  | 26,590  | 130    | 26,720  | 99.6%  | #DIV/0! | 100.1% |
| 砺波・小矢部・南砺   | 13,118  | 0      | 13,118  | 10,663  | 1,401  | 12,064  | 81.3%  | #DIV/0! | 92.0%  |
|             | 39,803  | 0      | 39,803  | 37,253  | 1,531  | 38,784  | 93.6%  | #DIV/0! | 97.4%  |
|             | 161,639 | 0      | 161,639 | 159,741 | 1,805  | 161,546 | 98.8%  | #DIV/0! | 99.9%  |

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）が提供するビッグデータ。日本全体の宿泊データのうち、サンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者実績データを算出。直近2か月については速報値を掲載しているため、今後、新型コロナウイルス等の影響により変動する可能性がある。

# 1. 観光データの動向（2023年2月）

## ③性別×年齢層

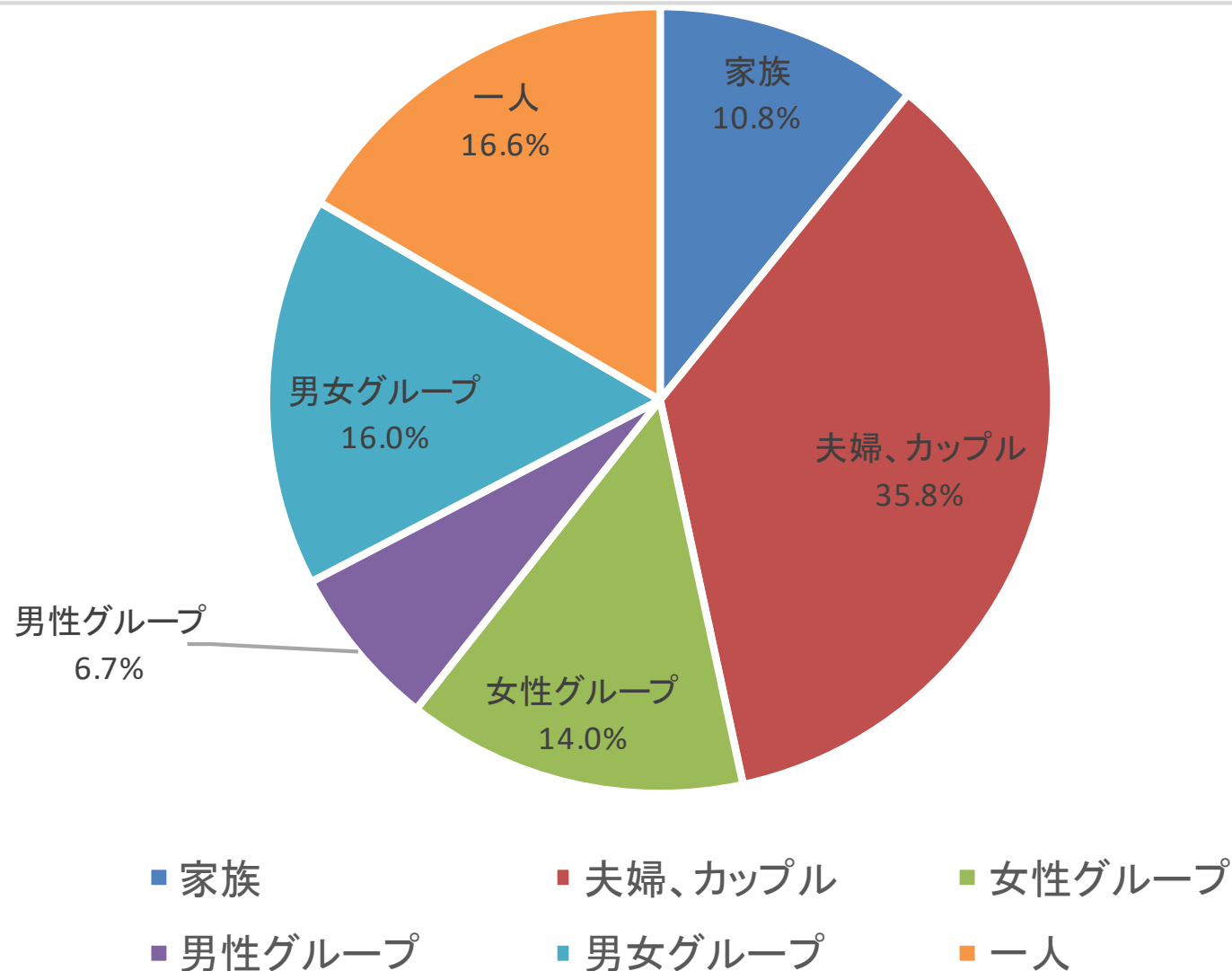


出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）が提供するビッグデータ。日本全体の宿泊データのうち、サンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者実績データを算出。直近2か月については速報値を掲載しているため、今後、新型コロナウイルス等の影響により変動する可能性がある。

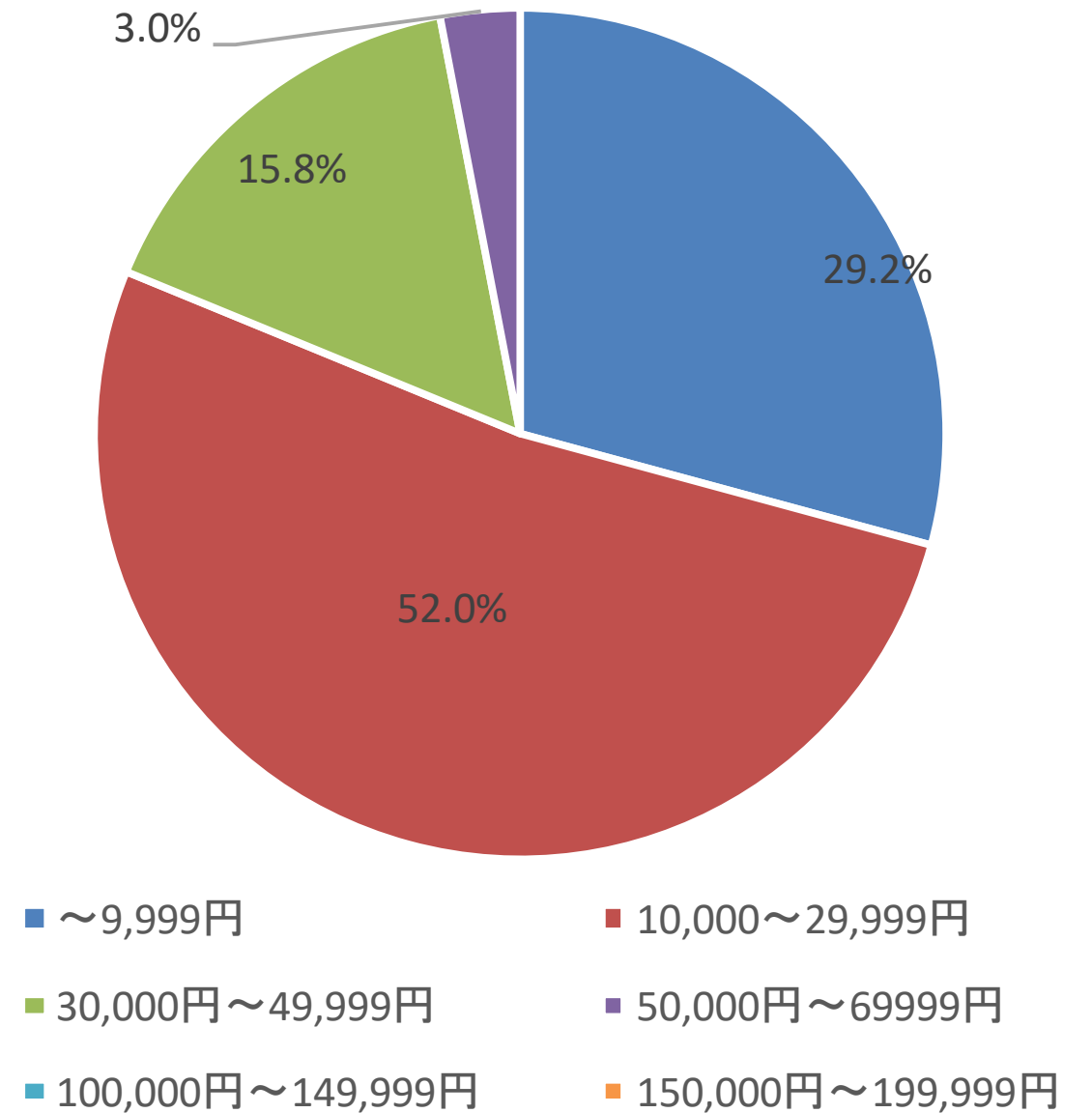
# 1. 観光データの動向（2023年2月）

## ④参加形態



## ⑤購入単価

宿泊代金総額を同伴者の人数をもとに平均単価を算出し、平均単価をもとに分類した項目



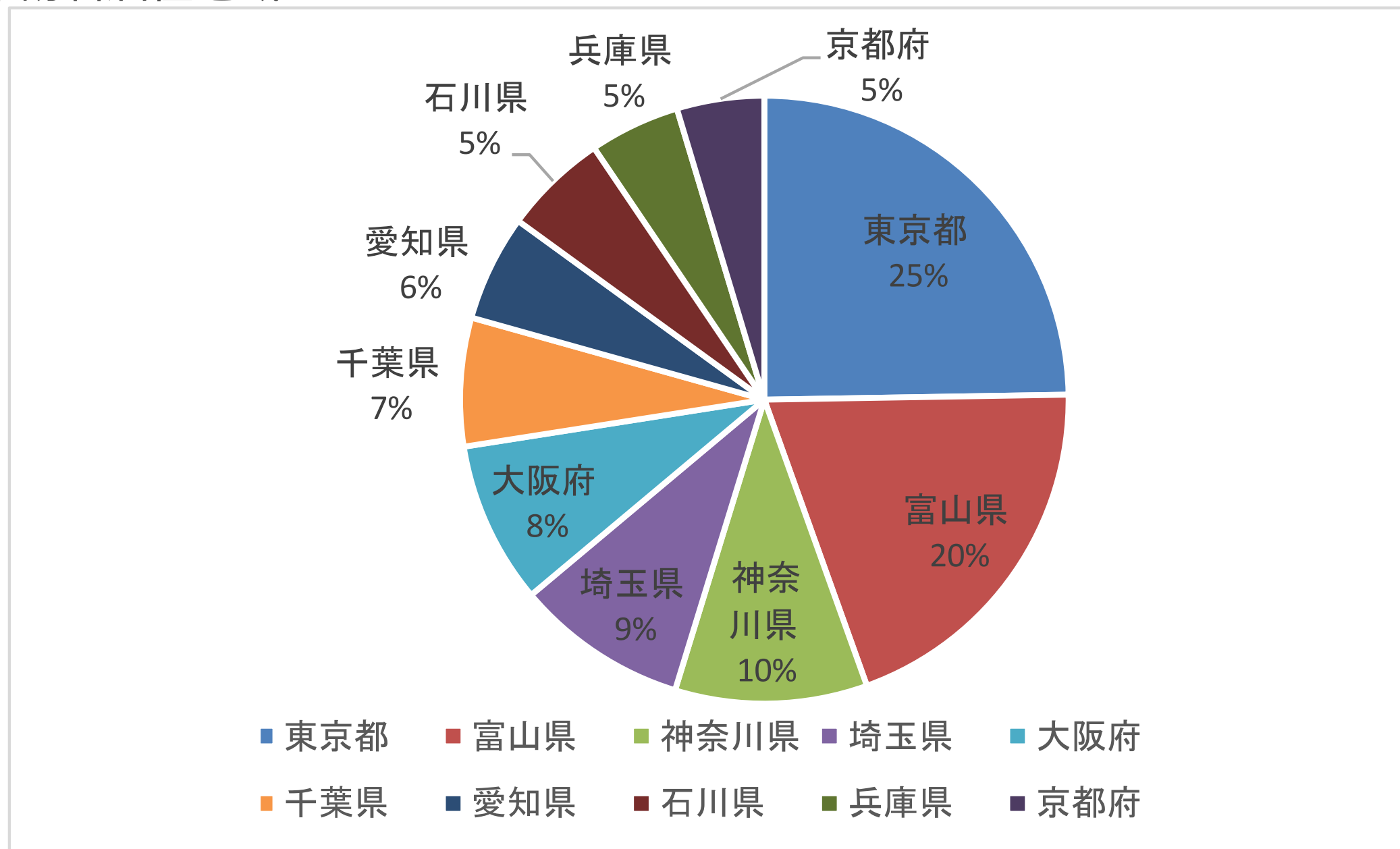
出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）が提供するビッグデータ。日本全体の宿泊データのうち、サンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者実績データを算出。直近2か月については速報値を掲載しているため、今後、新型コロナウイルス等の影響により変動する可能性がある。



# 1. 観光データの動向（2023年2月）

## ⑥ 来訪者居住地TOP10



出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）が提供するビッグデータ。日本全体の宿泊データのうち、サンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者実績データを算出。直近2か月については速報値を掲載しているため、今後、新型コロナウイルス等の影響により変動する可能性がある。

# 2. 観光に関する「SNS」の動向（～Twitter分析～）

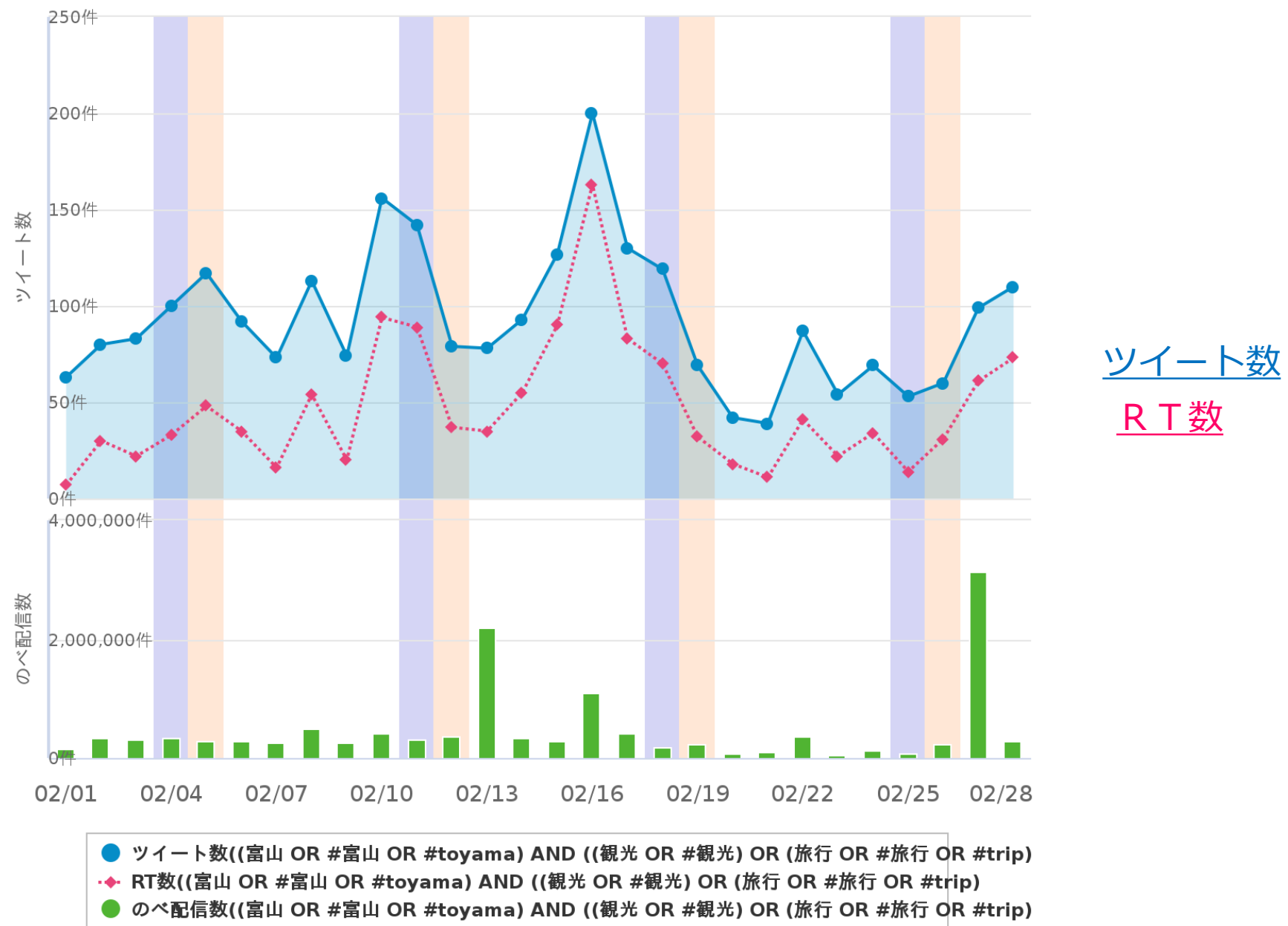
## 「富山県×観光」 Twitter分析

「富山県」と「観光」もしくは「旅行」を同時につぶやいた件数(ツイート数や、のべ配信数を分析)

### ①月間動向

| 対象期間     | 合計ツイート数 | 合計RT数  | 合計のべ配信数    |
|----------|---------|--------|------------|
| 2.1~2.28 | 2,601   | 1,318  | 13,112,181 |
| 前月比      | 111.6%  | 114.0% | 176.2%     |
| 対前年同月比   | 66.7%   | 42.0%  | 221.4%     |

### ②日別動向



# 3. とやま観光推進機構からのお知らせ

**NEW!** 「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン」が策定されました

観光庁で、観光地・観光産業の高付加価値化を進め、持続可能な観光地域づくりを担う観光人材の育成に向けて、「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン－持続可能な観光地域づくりに向けて－」が策定されました。

**経緯** コロナ禍を乗り越え、我が国の経済を再び発展の軌道にのせていくためには、観光の力が不可欠です。他方、コロナ禍を経て、社会情勢や旅行に対する意識に変化が見られる中、観光人材の育成に対する考え方も、そのような変化に対応していく必要があります。

そこで、観光庁では、2022（令和4）年9月に「ポストコロナ時代を支える観光人材育成に向けた産学連携協議会」（座長：若林 京都大学・経営管理大学院・教授）を開催し、今後の観光人材の育成のあり方について検討を重ねてきました。

**概要** ○本ガイドラインは、これまでの取組に関する効果検証も踏まえつつ、これからの時代の観光人材に求められる知識・技能を示し、あわせて、観光人材育成における地域、国、教育機関などの役割について整理したものです。  
○本ガイドラインでは、「持続可能な観光」の実現の必要性を踏まえ、今後求められる観光人材として、主に2つのタイプがあるとした上で、宿泊業等における「観光産業人材」とは別に、持続可能な観光地域づくりを牽引する「観光地経営人材」の育成の必要性や役割を整理しました。

詳細は観光庁HPをご確認ください。

▶ [https://www.mlit.go.jp/kankocho/news10\\_000001\\_00005.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news10_000001_00005.html)